

令和4年1月21日

都市建設常任委員協議会会議概要

委員長 神山昌則

副委員長 山本武朝

1 開催日時 令和4年1月21日（金曜日）午前10時00分～午前10時18分

2 開催場所 第3・第4委員会室

3 報告事項

(1) 事故の報告について

○出席委員

委員長	神山昌則	委員	工藤健
副委員長	山本武朝	委員	奥谷進
委員	竹山美虎	委員	里村誠悦

○欠席委員

委員	中田靖人	委員	藤原浩平
----	------	----	------

○説明のため出席した者の職氏名

企業局長	鈴木裕司	都市整備部次長	佐々木浩文
都市整備部長	平岡弘志	道路維持課長	小田一彦
水道部長	横内修	関係課長等	
交通部長	赤坂寛		

○事務局出席職員氏名

議事調査課主事	柿崎良輔	議事調査課主査	木村結衣
議事調査課主査	岩間憲仁		

○**神山昌則委員長** ただいまから、都市建設常任委員協議会を開会いたします。

本日は、中田委員が所用のため、藤原委員が病気療養のため欠席となっております。

それでは、本日の案件に入ります。

最初に、「事故の報告について」報告を求めます。都市整備部長。

○**平岡弘志都市整備部長** 市道の破損等に起因して発生した事故につきまして、お手元に配付しております資料に基づき、御報告申し上げます。

資料①を御覧ください。

事故の発生は、令和3年12月8日水曜日、午後12時頃、三内字稲元の市道三内稲元38号線において、道路の陥没により駐車中の車両の左側前輪部分が落下し、走行できなくなったものであります。

事故につきましては、事故の通報を受けた当日に、道路維持課職員により応急補修をしたところであります。

なお、今回の事故につきましては、幸いけが人はなく、市が加入している道路賠償責任保険の引受会社と協議をしながら相手方と交渉中であります。

これまでも、道路破損箇所の早期発見・早期補修につきましては、道路維持課職員のパトロールや職員総パトロール制度により、適宜、実施体制を構築しているほか、市ホームページ上にて、広く市民の皆様へ情報提供の御協力を呼びかけているところでありますが、今後とも、より迅速な対応を行い、事故の未然防止を図るよう努めてまいります。

以上でございます。

○**神山昌則委員長** ただいまの報告について、御質疑、御意見等ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**神山昌則委員長** 質疑はないものと認めます。

この際、ほかに理事者側から報告事項などはありませんか。

○**神山昌則委員長** このほか、委員の皆さんから、御意見等はございませんか。里村委員。

○**里村誠悦委員** 除雪状況についてお知らせ願いたいのですが、どのぐらいやっているのか、まだ除雪完了していないところがあるのか。

○**神山昌則委員長** 都市整備部長。

○**平岡弘志都市整備部長** 除雪状況に関する御質疑がありましたので、御説明させていただきます。

今冬における市の降雪状況から、まずは御説明させていただきますけれども、12月中旬までは昨年を下回る傾向にありましたけれども、12月20日月曜日から、強い冬型の気圧配置による低温降雪が続き、12月27日月曜日、午後11時に積雪深が100センチメートルを超えたことを踏まえて、青森市豪雪対策本部を設置いたしました。

しかしながら、その後も強い冬型の気圧配置によりまして、断続的な降雪が続き、青森地方気象台における12月28日火曜日、午前9時の積雪深は111センチメートル、また、市独自の観測地点であります戸山地区が115センチメートル、横内地区につきましては109センチメートルを記録しました。

これらのことから、12月28日に豪雪災害対策本部を立ち上げまして、雪に関する相談窓口受付時間の延長及び受付担当職員の増員、パトロール体制の強化や、市職員によるスノーレスキュー隊を編成し、屋根の雪下ろし及び歩道の確保支援を実施しております。

工区の除雪につきましては、今冬におきましては、155工区、86の除排雪事業者が実施しておりますけれども、年末年始も含め除排雪の状況を把握しながら、総動員体制で臨んでいるところであります。

それから、1月17日の小・中学校の始業式に向けまして、小・中学校62校から要望を受け、通学路の点検箇所を昨年度の122か所から、今年度は258か所に増やしまして、通学路確保に向け、除雪作業を実施したところであります。

以上でございます。

○神山昌則委員長 里村委員。

○里村誠悦委員 私のところに、まだ除雪していないところや家に車で入れない、それから、古館から青森県立保健大学に行く途中まで大変だという電話が来ます。だからどういうふうになっているのかなど。

1業者でできないのであれば、前もしゃべったとおりに応援隊——仲が悪いと行かないと言っていますけれども、そういう応援とか、うまくスクラムを組んでいるのですか。

○神山昌則委員長 都市整備部長。

○平岡弘志都市整備部長 今年度につきましては、今、里村委員から御指摘がありました、応援除雪の体制を構築しております。今日現在のところ、応援除雪の実施状況でありますけれども、工区あるいは幹線・補助幹線について17回実施したところであります。

○神山昌則委員長 里村委員。

○里村誠悦委員 去年も、雪がいきなり降って交通が麻痺したわけですがけれども、今年もまた同じ状態になったと。

今後の除雪の在り方として——学校が始まる前とか、天気予報を見てやるのだけれども、この前も幸畑の阿倍野のほうの道路が非常に悪かったのです。それで、バスが一台しか通れない。だから、そういう状態を交通部で把握して、道路維持課に連絡しているのですか。

○神山昌則委員長 交通部長。

○赤坂寛交通部長 里村委員からの御質疑にお答えいたします。

バスの路線で道路の条件が悪いときの都市整備部との連絡でありますけれども、

当方では、そういう道路があった場合は、すぐに乗務員から無線で本部に連絡が来ます。その状況をすぐに、道路維持課へ情報として提供させていただいていると。これを日々繰り返しているという状況であります。

○神山昌則委員長 里村委員。

○里村誠悦委員 市内のいつも渋滞するところは大体決まっているわけだから、そこを重視しながら、今後は、パトロールで追いつかないところは、ドローンもありますので。それからまた、町会あたりから情報をどんどん求めて早め早めに行かなければ。いついつ天気が上がってからやりますとか、そんなことをやっていけば、また渋滞になるので。ともかく、ここは悪いなと思ったら、やってほしい。

それから、今、みんな、道路の除雪で底まで取ってくださいという願いがあるのだけれども、凸凹で取っていくので、非常に走りづらい。除雪をする人によって技術が様々なわけでしょう。ですから、せっかく排雪したのに、そこにまた除雪して盛り上げていくとか、かえって危ないという状況になっている。排雪して、次の日に除雪、ローラーをかけなくてもいいような状況のときにもかけてわざと——わざとじゃないけれども、わざわざ道を狭くしている。だから、そういうところまでちゃんと、部長、見て。それでないと、このままだと変わらないですよ。いつも文句が来ますので。

ですから、今、言ったようなところを見直して、やっていただきたいと思います。

○神山昌則委員長 ほかにございませんか。山本委員。

○山本武朝委員 おはようございます。

せっかくの常任委員協議会ですので、まず、最初に、幾つかあるのですけれども、バス停の雪の壁になっているところを、職員の方が除雪している姿を何件か見ました。必死に頑張っていたいただいているのだなど。ただ、全部のバス停を職員でできるとは思えないので、どれぐらいやったかとか、概数でも分かるものでしょうか。

○神山昌則委員長 交通部長。

○赤坂寛交通部長 山本委員からの御質疑にお答えいたします。

今年度のバス停の除排雪であります。1月20日現在で申し上げますけれども、交通部職員による出動は、延べ10日間出動しております。バス停の数でありますけれども、延べ112か所、バス停の除雪をしております。通常、お客様の多いところをやっているのですけれども、今年度、特に雪が多かったことを踏まえまして、1月7日に、市内の様々なところを大きく除雪を入れさせていただいたというところでもあります。

以上でございます。

○神山昌則委員長 山本委員。

○山本武朝委員 ありがとうございます。

道路除排雪事業全体の、まず今冬のイメージなのですけれども、昨冬は本当に大変で、なかなか入りきれないということがあったのですけれども、いつも文句ばっ

かり言っているのは申し訳ないので、今冬は結構、計画的に入って——全体の話です。個々には入っていないとかあるかもしれません。全体としては、すごい除排雪が入っていただいているなど。また、要望して相談しても、必ず反応があって、数日以内に、意外と入っていただいているというイメージはあります。改善されているところがあるなどという実感はあります。その上で、個々には、正直言ってまだ今年1回も入っていないじゃないかとか、それは場所によってはあります。ただ、それもお伝えしながら、工区内に今、いつ入る予定ですということであって、改善している実感は正直いってあります。

その中で、豪雪災害対策本部でパトロール体制を増やしたはずですけども、旭町通りとか、藤田組通りとか、個々に、いつも問題になる場所があるのですけれども、今回、1つだけ言うと、桜川から中佃の小柳通りのほうに向かう橋を渡って、次のすぐ僅か七、八十メートル先の信号のところはいつも、がたついてすごいのです。そこがまだ直っていません。除排雪が入っていないのですけれども、例えばそういう、いつもひどい状態だって分かる場所は本当に熟知されていると思うのです。まだそこは改善されていませんけれども、なぜパトロールで見落とししているのか。

○神山昌則委員長 都市整備部長。

○平岡弘志都市整備部長 担当課長より御説明させていただきます。

〔山本武朝委員「具体の場所ですのでね、はい」と呼ぶ〕

○神山昌則委員長 はい、どうぞ。

○小田一彦道路維持課長 道路維持課、小田です。

ただいまの、恐らく松桜橋から藤田組通りまでの区間だと思うのですけれども、桜川団地線の除雪は、正確には分かりませんが、数日前に実施はしました。ただ、ここ数日、日中は天気がよくて、気温がある程度上がっているのですけれども、夜間はかなり冷え込んで、氷が剥げないで残ってしまっているという状況は、確かに我々も確認しております。圧雪が残っているところは、やっぱり気温が上がるとまた壊れてぼこぼこになったりするので、その都度、一応、除雪の指令は出してはいるのですけれども、またすぐ状況が悪くなったりしていることが見受けられます。今、まだやられていないとのことでしたので、もう1回確認して、引き続き、現場の対応をしていきたいと考えております。

○神山昌則委員長 山本委員。

○山本武朝委員 ありがとうございます。

要は広く取らないとすれ違いできないので、できるだけ広く取ってもらいたいということで現場確認をお願いします。あと1点だけ状況をお聞きしたいのですけれども、道路維持課長にも一度お聞きしたことがあったのですけれども、私にも除排雪事業者から苦情の電話が2件ありました。

それは、日中、雪を浜町に捨てに行くのですけれども、そこに行くまでの4号線

から浜町の捨場までの道路がひどいと。これは全部、市ではないと思います、県道の部分も多いのかなと思っています。また、その海に突き出る道路も何できちんとやらないのだと。これだけダンプが時間をかけて来ているのに、非常にストレスがたまって、何なのだと、あれだともう捨てに行けないと。もうそこは執念を持って、浜町の雪捨場に行くまで――部長、これは東青地域県民局長とも連携して丁寧にやってもらいたいです。

やっぱり捨てに行くのは事業者さんがすごい時間を取るの、そこを要望したいのです。部長、何かコメントありますか。次長でもいいです。

○神山昌則委員長 都市整備部長。

○平岡弘志都市整備部長 今、御指摘がありました、国道4号線から浜町緑地までの除雪につきましては、市道の部分と、臨港道路の部分があります。我々に入っている情報では、臨港道路の部分が大分状況が悪いというような報告もありましたので、東青地域県民局の部長にその旨をお伝えして、県としてもパトロールの強化、それから、除雪の実施体制の強化もするということで回答いただいております。

○神山昌則委員長 山本委員。

○山本武朝委員 そのとおり実施してもらいたいです。ありがとうございます。

○神山昌則委員長 このほか、委員の皆さんから、御意見等はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○神山昌則委員長 以上をもって、本日の案件は全て終了いたしました。

これにて、本日の協議会を閉会いたします。

(会 議 終 了)